

Immediate Press Release 2012.12.25

## 新井淳一の布 伝統と創生 ARAI Junichi: Tradition and Creation

謹啓 師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、東京オペラシティ アートギャラリーの展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先のプレスリリースでもお知らせしましたように、当館では2013年1月12日[土]より「新井淳一の布 伝統と創生」を開催いたします。

テキスタイル・プランナー新井淳一の60年にわたる活動は国際的に高い評価を得ています。近年は欧米や中国で展覧会が開催され、2011年には英国王立芸術大学院 (Royal College of Art) より名誉博士号を授与されました。新井は古来の布作りにみられる「糸を撚る」、「織る」、「絞る」、「染める」といった手仕事にこだわってきました。同時に現代の高度なテクノロジーも手の延長ととらえて自在に操り、新たな表現の領域を切り開いています。手仕事とテクノロジーの融合した独自の手法による創作や、布作りの先端的な技術を世界各地で広めた功績はきわめて大きなものがあります。

本展ではこれまで見る機会がなかった新井の布作りの工程や、制作の背景などを包括的に紹介し、新井の布作りにおける先鋭的な発想と精神性を浮き彫りにします。DGT (ドレル・ゴットメ・田根/アーキテツ) の田根剛による斬新な展示構成によって、新井の布を見るだけでなく、体感する機会となることでしょう。

つきましては「新井淳一の布 伝統と創生」を貴誌上で是非ご紹介頂きたく、周知・告知活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 〔開催概要〕

展覧会名: 新井淳一の布 伝統と創生 ARAI Junichi: Tradition and Creation  
 会期: 2013年1月12日[土]-3月24日[日]  
 会場: 東京オペラシティ アートギャラリー  
 開館時間: 11:00-19:00 (金・土は20:00まで/最終入場は閉館の30分前まで)  
 休館日: 月曜日 (祝日の場合翌火曜日)、2月10日[日・全館休館日]  
 入場料: 一般1,000(800)円/大・高生800(600)円/中・小生600(400)円

- \* 同時開催「収蔵品展043 自然の表現 わが山河 Part IV」、「project N 51 阿部未奈子」の入場料を含みます。
- \* 収蔵品展入場券200円(各種割引無し)もあり。  
( )内は15名以上の団体料金。その他、閉館の1時間前より半額、65歳以上半額。土・日・祝日の中・小生無料。
- \* 障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ: 03-5353-0756 ウェブサイト <http://www.operacity.jp/ag/>

主催: 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団/東京新聞  
 協賛: ジャパンリアルエステイト投資法人/NTT 都市開発株式会社  
 助成: 芸術文化振興基金  
 協力: 尾池テック株式会社/日本特殊光学樹脂株式会社/美術照明サムサラ  
 公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団  
 企画協力: マンゴスティン  
 会場構成: Dorell.Ghotmeh.Tane / Architects

### ■本リリースに関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】 佐山・堀 【広報担当】 吉田

Tel:03-5353-0756 / Fax:03-5353-0776 / Email:ag-press@toccf.com

**ARTGALLERY**  
TOKYO OPERA CITY

[展示構成]

section 1: 創生の原点にふれる

布作りのお手本は伝統の中にあふれていると新井は言います。新井にとっての伝統とは、人間の精神の歴史そのものです。布の原料となる動植物の成長を願い、自然の恵みを大切にしながらものを生み出してきた人々に宿る精神。目に見えない祈りが新井の仕事の中には息づいているのです。

金属や化学物質を使った布で知られる新井ですが、天然素材を用い、手仕事を大切にすることが新井の原点です。あらゆる物質は自分自身で組織や構造を作り出す[自己組織化]という性質をもっていて、新井はそのような自然の摂理を重視しています。たとえばウール100%の布をタンブラーでもみ洗いすることで縮絨(フェルト化)させて作られる布には、ウールの産地、水洗いの時間、水量、温度などによってそれぞれ異なる性質が質感となってあらわれます。新井はウールのもつ自然の力を引き出して、布が自ら生まれるのを待つのです。

ここでは新井淳一の多様な技法による布と、制作にまつわる様々なものを展示します。

会場に入ると、ほの暗い空間にとりどりの布が水平に広がっています。布の一枚一枚に柔らかな光が当たっては消え、まるで呼吸しているかのようです。

壁面の展示では、ISSEY MIYAKE と新井の協働による1983-85年のパリ・コレクションの映像、新井の制作過程を映した映像のほか、布の原料となる鉱物の原石、糸、布作りのための素材や道具が制作の奥行きを示します。また、自由に触れて風合いを確かめることができる布や、布の組織を拡大して見る装置など、新鮮な視点によって、新しい布を生み出してきた新井の先鋭的な発想を紹介します。

[展示される布のおもな技法:ジャカード、ウールの縮絨(フェルト化)、真空熱セット、真空熱転写]

section 2: プリミティブなものに宿る生命

ダイナミックなインスタレーション作品と布の森。新井の布を体感する空間です。ギャラリー 2 に入っただけで、鑑賞者は巨大な渦の中に取り込まれます。

渦巻き文様はあらゆる民族のシンボルとして、呪術的な意味合いをもっています。

渦は、生まれ育ち、死にゆく命の象徴です。渦は、過去と未来を突き抜け、生と死をも貫き、はじめとおわりを一望します。渦は、人が初めて知った命の持つ深い意味への驚きであり、恐れでもありました。  
(新井淳一、「太陽と精霊の布」展カタログより)

生命の象徴としての渦は新井に創作の力をもたらしてきました。



新井淳一の布  
photo:UENO Norihiro



《ブリーツ1》  
ポリフェニレンサルファイド、アルミニウム(スリットヤーン) 2007-



会場展示プラン section 2  
© DGT

迷路のような布の渦の中を鑑賞者が行き交うことで、会場では生命のエネルギーが交錯します。

このインスタレーションに鑑賞者が参加し、巻き込まれ、新たな何かが生まれることを、新井は望んでいます。

渦を出ると、あでやかな色彩の布、金属糸を使った布の森が現われます。ここでは伝統的な絞り染めの技法を中心とした新井の多様な表現をご覧ください。布の表と裏、わずかな空気動きにも揺れる軽さやしなやかさ。独創的な新井の布作りとともに、普段は気にとめることのなかった布のもつ性質をあらためて知る機会にもなるでしょう。

ギャラリー 2最後の壁には白い布で埋め尽くされます。空間の中に沸き上がってくるようなつややかな布が鑑賞者を包み込みます。

### section 3: 手の記憶

新井の創作の背景を映像と音によるインスタレーションで紹介いたします。

新井の布作りにインスピレーションを与えてきたさまざまな民族の手仕事。新井が旅した様々な土地で撮影してきた写真と、新井自身が創作について語る言葉の断片が、布の記憶、手の記憶を伝えるように、時の回廊として展示されます。新井の創生の根源を旅するようなこの空間から、その思想を感じ取っていただきます。



会場展示プラン section2  
© DGT



会場展示プラン section3  
© DGT

#### 新井淳一 略歴

- 1932 群馬県桐生市（旧 山田郡境野村）生まれ
- 1960 第1回化学繊維グランドフェアで通商産業大臣賞を受賞
- 1983 第1回毎日ファッション大賞特別賞
- 1984 アクシズビル地下一階に「NUNO（布）」を開店  
「布空間・布人間 新井淳一作品展」、佐賀町エキジビット・スペース、東京
- 1987 英国王室芸術協会よりオノラリー・ロイヤル・デザイナーズ・フォー・インダストリー  
（Hon. R.D.I.）の称号を授与
- 2003 ロンドン・インスティテュート（現・ロンドン芸術大学）より名誉博士号  
「新井淳一 布展—透明と反射—」、高崎市美術館
- 2005 「新井淳一 進化する布」、群馬県立近代美術館
- 2009 「Innovative Cloths—Junichi Arai」、香港理工大学美術館
- 2010 「Metallic Sound」、ボニントン・ギャラリー、ノッティンガム  
「新井淳一の布—50年の軌跡」、清華大学美術学院
- 2011 英国王立芸術大学院（Royal College of Art）より名誉博士号



#### パブリックコレクション:

ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン）、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館（ニューヨーク）他

[関連企画]

本展の関連企画として、展示室内でのダンスパフォーマンスをはじめ、写真家、クリエイティブ・ディレクターなど多彩なゲストによるトークを開催いたします。テキスタイル、ファッション、ダンス、建築、アート、それぞれの分野を横断しながら、新井淳一の魅力を探ります。

◎安藤洋子 ダンス・パフォーマンス

日時： 2013年2月3日 [日] 開場 19:50 開演 20:00

会場： 東京オペラシティ アートギャラリー ギャラリー 2

定員： 65名

チケット料金： 3,500円 (税込/展覧会一般入場券とのセット券)

チケット発売日： 2012年12月20日 [木]

購入・申し込み： チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード: 425-635)

\* チケットは展覧会一般入場券とのセット券となります。取り扱いはチケットぴあのみです (アートギャラリー受付では販売しておりません)。

\* チケットはお一人につき一枚使用、就学前のお子様のお同伴、ご入場はできません。

◎ゲストによるギャラリートーク

2013年2月3日 [日] 14:00 - 15:00

田根 剛 (建築家) DGT (ドレル・ゴットメ・田根/アーキテクト)

聞き手： 佐山由紀 (本展担当キュレーター)

会場： 東京オペラシティ アートギャラリー ギャラリー 1・2

参加費： 入場には、当日の入場券が必要です。

◎ゲストトーク・シリーズ

2013年2月17日 [日] 14:00 - 15:00

石内都 (写真家) × 森山明子 (武蔵野美術大学教授)

2013年2月24日 [日] 14:00 - 15:00

小池一子 (クリエイティブ・ディレクター) × 西谷真理子 (ファッション・エディター)

2013年3月17日 [日] 14:00 - 15:00

田中ぱるば (真木テキスタイルスタジオ会長)

会場： 東京オペラシティビル7F 第一会議室

定員： 80名 [全席自由/要予約]

参加費： 無料 [展覧会の入場は別料金]

\* お申し込み受付は2013年1月16日 [水] よりウェブサイト (<http://www.operacity.jp/ag/>) で開始予定